

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	江口達也
市民-32	実施事業	学校体育施設開放事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 スポーツ課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため。
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・地域に身近な学校の体育館・校庭・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。 ・竣工した大船中学校体育館の一般開放を開始した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	23,132	23,940	当初予算(千円)	24,573			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	492	266	その他	450			
	一般財源	22,640	23,674	一般財源	24,123			
	人員配置数	0.6	0.6	人員配置数	0.4			
事業経費運営	人件費(千円)	4,620	4,569	人件費(千円)	3,158			
	総事業費(千円)	27,752	28,509	総事業費(千円)	27,731			
	市民1人当りの経費(円)	157	161	市民1人当りの経費(円)	157			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 学校体育施設開放運営協議会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・体育館の照明使用料相当額の受益者負担の導入について検討を行う。 ・改築工事が完了した大船中学校のプール及びグラウンド等の開放について、その手法を検討し、必要に応じ、資機材の配備に係る予算措置を行う。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も地域の学校体育施設を開放することで、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供していく。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な運営のため、受益者負担の導入が必要である。 ・開放用品については相当の年数が経過したものもあり、それらの現況を再確認し、更新の可否や更新スケジュールを検討する必要がある。 ・校庭の夜間照明設備については、LED化を進めていく必要がある。 	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校の校庭・体育館・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。 ・改築が終了した大船中学校の体育館の開放を行った。 ・開放用品は状況を確認し、使用できなくなった物を廃棄した。 ・校庭の夜間照明設備は、劣化が進んでいる照明器具から順にLEDへの更新を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な運営のため、受益者負担の導入が必要である。 ・開放用品については相当の年数が経過したものもあり、それらの現況を再確認し、更新の可否やスケジュールを検討する必要がある。 ・校庭の夜間照明設備については、LED化を進めていく必要がある。 ・プールの開放校について、利用者の多少の偏りなどを検証し、見直す必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	学校開放校数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	25校	54校	19校	43校	36校	73校	6校	8校	12校	
比較事項	プール開放日数(延べ日数)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	345日	175日	318日	280日	358日	325日	90日	0日	17日	
比較事項	学校開放屋外運動場夜間照明設備設置校									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	2校	3校	4校	9校	3校	0校	0校	0校	0校	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	学校開放は身近な場所でスポーツの場を市民に提供するとともに、スポーツ施設の整備状況が充分とはいえない本市の実情を補完する重要な事業であり、特にプールの開放は他市と比較しても開放延べ日数が多くスポーツの場の提供が充分にできていると考えている。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学校体育施設開放利用者数(プール以外)	単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民スポーツの振興を図るため	目標値	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
	実績値	307,362	320,509	322,271			
	達成率	87.8%	91.6%	92.1%			
指標の内容	学校開放団体利用数	単位	団体	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民スポーツの振興を図るため	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績値	11,336	11,875	11,537			
	達成率	75.6%	79.2%	76.9%			
指標の内容	学校体育施設開放利用者数(プール利用)	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民スポーツの振興を図るため	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績値	28,511	22,376	21,751			
	達成率	0.0%	74.6%	72.5%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	学校体育施設開放は、市民が身近な場所でスポーツに取り組めるよう場を提供するものであり、利用団体の活動内容の情報を地区住民に周知する方法を検討し、利用者数や利用団体の構成員の増加を図り、市民のスポーツ実施率の向上につなげていく。 プールの利用者数は、監視員の人数の確保が困難な実情を踏まえ、平成27年度から開放延べ日数を400日から345日にしたため、平成27年度は前年度に比べ減少した。平成28年度は前年度とほぼ同数であるが、8月中旬以降の天候不良(雨天、気温の低下)によるものであり、天候次第では増加するものと考えている。
-----------------------	---